

平成 17 年 度

決 算 報 告 書

【第 2 期】

自 平成 17 年 4 月 1 日

至 平成 18 年 3 月 31 日

国立大学法人 お茶の水女子大学

# 平成17年度 決算報告書

国立大学法人 お茶の水女子大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
<b>収 入</b>				
運営費交付金	4,518	4,605	87	(注1)
施設整備費補助金	683	692	9	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	34	101	67	(注3)
補助金等収入	0	64	64	(注4)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	26	26	0	
自己収入	2,082	2,000	△ 82	
授業料、入学金及び検定料収入	2,035	1,940	△ 95	(注5)
附属病院収入	0	0	0	
財産処分収入	0	1	1	
雑収入	47	58	11	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	238	551	313	(注7)
長期借入金	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	1	1	(注8)
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	7,581	8,042	461	
<b>支 出</b>				
業務費	5,528	5,494	△ 34	(注9)
教育研究経費	5,528	5,494	△ 34	
診療経費	0	0	0	
一般管理費	1,072	873	△ 199	(注10)
施設整備費	709	718	9	(注11)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	0	64	64	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	238	531	293	(注13)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	34	101	67	(注14)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	7,581	7,782	201	
収入 - 支出	0	260	260	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金債務を繰越したため予算額に比して決算額が87百万円増額となった。

(注2)補正予算措置により予算額に比して決算額が9百万円増額となった。

(注3)補正予算措置により予算額に比して決算額が67百万円増額となった。

(注4)国からの補助金により予算額に比して決算額が64百万円増額となった。

(注5)授業料及び入学金及び検定料について、予算額に比して決算額が95百万円減額となった。

(注6)財産貸付及び保育所の利用増加等に伴い予算額に比して決算額が11百万円増額となった。

(注7)研究等の受入れが予算額に比して決算額が313百万円増額となった。

(注8)承継した裁判が結審したことにより予算額に比して決算額が1百万円増額となった。

(注9)業務費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が34百万円減額となった。

(注10)一般管理費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が199百万円減額となった。

(注11)注2に示した理由により予算額に比して9百万円決算額が増額となった。

(注12)注4に示した理由により予算額に比して64百万円決算額が増額となった。

(注13)注7に示した理由により予算額に比して293百万円決算額が増額となった。

(注14)注3に示した理由により予算額に比して67百万円決算額が増額となった。